

事業成果報告書

1. 教育委員会名 : 鳥取市教育委員会
2. 研究主題 : 魅力ある学校統合事例の創出
3. 研究タイトル : 統合を契機とした魅力的な学校づくりに関する先進的な取組
～施設分離型、5・4制義務教育学校の在り方を探る～
4. 研究課題 : (1) 統合後の学校が新たな学区の地域コミュニティの核として高い教育機能を発揮するための方策に関する研究
(研究課題)
・地域の文化や歴史、人材などを活用した特色ある9年間の教育課程の編成
・独自教科「表驚科(あらわしか)」の新設に向けた教育課程の研究～地域の伝統文化・工芸の継承や劇団「鳥の劇場」とのコラボを活かした教育課程の創造～
(2) 統合を契機とした学校運営システムの抜本的改革に関する研究
(研究課題)
・学校運営協議会(コミュニティスクール)の導入
・校務支援システムの導入による校務の大胆な効率化
(3) 統合を契機とした魅力的な学校づくりに関する先進的な取組
(研究課題)
・施設分離型、5・4制義務教育学校における適切な学校運営の在り方を探る。
・学校と地域の協働による学校運営体制の確立と地域活性化の取組。
5. 事業の実績

(1) 調査研究のねらい

全国でもあまり例のない施設分離型5・4制の義務教育学校の開校に向けて、地域と保護者、学校関係者の代表からなる推進委員会において、地域の文化や人材を生かした教育内容の創造や学校運営の在り方を検討することを通して、地域活性化につながる地域と共にある学校づくりをめざす。

※要点をまとめ、簡潔に記載すること。

(2) 調査研究の実施状況(平成29年度)

4月	鹿野地域小中一貫校推進委員会「鹿野の宝応援部会」「すごい学校!創造部会」の開催
5月	鹿野地域小中一貫校推進委員会「鹿野の宝応援部会」「すごい学校!創造部会」の開催
6月	鹿野地域小中一貫校推進委員会の開催 鹿野地域小中一貫校推進委員会「鹿野の宝応援部会」「すごい学校!創造部会」の開催 小中合同教職員研修会
7月	鹿野地域小中一貫校推進委員会「鹿野の宝応援部会」「すごい学校!創造部会」の開催
8月	鹿野地域小中一貫校推進委員会の開催 鹿野地域小中一貫校推進委員会「鹿野の宝応援部会」の開催 小中合同教職員研修会 先進地視察(教職員及び推進委員会委員)→兵庫県小野市立河合中学校 分離型5・4制小中一貫校の教育課程及び学校運営に係る視察
9月	研修会(管理職対象) 分離型5・4制義務教育学校の適切な学校運営について 指導助言者 公立鳥取環境大学准教授 川口有美子氏 鹿野地域小中一貫校推進委員会「鹿野の宝応援部会」「すごい学校!創造部会」の開催
10月	鹿野地域小中一貫校推進委員会の開催 鹿野地域小中一貫校推進委員会「鹿野の宝応援部会」の開催 小中合同教職員研修会
11月	小中合同教職員研修会 講演会 演題「小中一貫教育の意義と可能性」 講師 京都産業大学 教授 西川信廣氏 鹿野地域小中一貫校推進委員会「鹿野の宝応援部会」「すごい学校!創造部会」の開催
12月	鹿野地域小中一貫校推進委員会の開催

1月	鹿野地域小中一貫校推進委員会「鹿野の宝応援部会」「すごい学校！創造部会」の開催 先進地視察（教職員）→茨城県笠間市立みなみ学園義務教育学校 分離型5・4制小中一貫校の学校運営に係る視察 先進地視察（教職員）→東京都三鷹市立三鷹中央学園 小中一貫教育とコミュニティ・スクールの運営に係る視察
2月	「シラバス」の完成 鹿野地域小中一貫校推進委員会の開催
3月	研修会（管理職対象） 分離型5・4制義務教育学校の学校運営組織の在り方について 指導助言者 公立鳥取環境大学准教授 川口有美子氏成果 刊行物（リーフレット）完成

6. 事業の成果

(1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

<p>地域・保護者・学校関係者で組織する小中一貫校推進委員会の中で、ふるさと鹿野の将来を担う子どもを育てる9年間の教育ビジョン、教育目標を考え、共有することができ、「地域とともにある学校づくり」へつなげることができた。また、地域の文化や歴史、人材などを活用した特色ある9年間の教育課程の編成を行い、シラバスを作成・配布することで、「地域に開かれた教育課程の創造」を行うことができた。特に、新設教科「表驚科」については、地域にある劇団「鳥の劇場」に主体的にかかわっていただき、実際に学習の場で指導や支援をいただきながら、創設することができた。（資料1～4）</p>
<p>平成28年4月に設立された「しかの学校応援団」と連携・協働していくコミュニティ・スクールの構想を策定し、平成30年4月の開校と同時に運営協議会を立ち上げる準備を行うことができた。（資料5）</p>
<p>先進地視察を行い、全国でもあまり例のない施設分離型5・4制の義務教育学校の学校運営の在り方について研究し、鹿野学園独自の学校運営の在り方を探ることができた。 （現在、最終的な校務分掌表、管理職の動き、会議の持ち方等について作成中）</p>

※必要に応じて、適宜、表を追加・削除すること。

(2) 成果物等

<ul style="list-style-type: none"> ・鹿野学園シラバス ・鹿野学園リーフレット（3月中旬完成予定）
--

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

※成果物（冊子・パンフレット等の印刷物）については、10部添付すること。

※成果物（冊子・パンフレット等の印刷物）の電子媒体がある場合は、併せて送付すること。

(3) 今後の取組予定

<ul style="list-style-type: none"> ○地域の特色を生かした教育課程による実践と検証 ○コミュニティスクールによる学校運営とよりよい学校支援のあり方を研究 ○テレビ会議システムを活用した適切な学校運営の在り方についての研究 ○地域住民が学校づくりに参画したことを地域づくりにどう活かしていくかを検討

※要点をまとめ、簡潔に記載すること。